



# バナーと **MOTD** を管理します

## ONTAP 9

NetApp  
April 24, 2024

# 目次

バナーと MOTD を管理します .....	1
バナーと MOTD の概要を管理します .....	1
バナーを作成します .....	2
バナーの管理 .....	4
MOTDの作成 .....	5
MOTD を管理します .....	7

# バナーと MOTD を管理します

## バナーと MOTD の概要を管理します

ONTAP では、ログインバナーまたは Message Of The Day ( MOTD ) を設定して、クラスタまたは Storage Virtual Machine ( SVM ) の CLI ユーザに管理情報を提供できます。

バナーは、ユーザにパスワードなどの認証を要求する前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。たとえば、バナーを使用して、システムへのログインを試行したユーザに次のような警告メッセージを表示することができます。

```
$ ssh admin@cluster1-01
```

```
This system is for authorized users only. Your IP Address has been logged.
```

```
Password:
```

MOTD は、ユーザの認証後、クラスタシェルのプロンプトが表示される前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。たとえば、MOTD を使用して、認証されたユーザに次のような情報メッセージを表示することができます。

```
$ ssh admin@cluster1-01
```

```
Password:
```

```
Greetings. This system is running ONTAP 9.0.
```

```
Your user name is 'admin'. Your last login was Wed Apr 08 16:46:53 2015  
from 10.72.137.28.
```

バナーまたは MOTD の内容は、を使用して作成または変更できます `security login banner modify` または `security login motd modify` コマンドをそれぞれ次の方法で実行します。

- CLI の対話型モードまたは非対話型モードを使用して、バナーまたは MOTD に使用するテキストを指定できます。

対話型モード。を使用せずにコマンドを使用した場合に起動されます `-message` または `-uri` パラメータを指定すると、メッセージ内で改行(行末とも呼ばれます)を使用できます。

を使用する非対話型モード `-message` メッセージ文字列を指定するパラメータで、改行はサポートされません。

- バナーまたは MOTD に使用する内容を FTP または HTTP からアップロードできます。
- 動的な内容を表示するように MOTD を設定できます。

MOTD には、たとえば次のような情報を動的に表示することができます。

- クラスタ名、ノード名、または SVM 名
- クラスタの日付と時刻
- ログインしているユーザの名前
- ユーザによるクラスタのノードへの前回のログイン
- ログインしたデバイスの名前または IP アドレス
- オペレーティングシステムの名前
- ソフトウェアリリースバージョン
- 有効なクラスタバージョン文字列。 `security login motd modify` のマニュアルページに、動的に生成される内容を MOTD に表示するためのエスケープシーケンスが記載されています。

バナーでは動的な内容はサポートされていません。

バナーと MOTD はクラスタレベルまたは SVM レベルで管理できます。

- バナーには次の特徴があります。
  - クラスタ用に設定したバナーは、バナーメッセージが定義されていない SVM に対しても表示されます。
  - SVM ごとに SVM レベルのバナーを設定できます。

このバナーが設定された SVM では、クラスタレベルのバナーが設定されていても、SVM レベルのバナーだけが表示されます。

- MOTD には次の特徴があります。
  - クラスタ用に設定した MOTD は、デフォルトですべての SVM に対しても有効になります。
  - また、SVM ごとに SVM レベルの MOTD を設定できます。

この場合、SVM にログインしたユーザには、クラスタレベルと SVM レベルの 2 つの MOTD が表示されます。

- クラスタレベルの MOTD を有効にするか無効にするかは、クラスタ管理者が SVM 単位で設定できます。

クラスタ管理者が SVM でクラスタレベルの MOTD を無効にした場合、その SVM にログインしたユーザにはクラスタレベルの MOTD は表示されません。

## バナーを作成します

バナーを作成して、クラスタまたは SVM へのアクセスを試行したユーザにメッセージを表示することができます。バナーは、ユーザに認証を要求する前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。

手順

1. を使用します `security login banner modify` クラスタまたはSVM用のバナーを作成するコマンドは次のとおりです。

状況	作業
1 行のメッセージを指定します	を使用します <code>-message "text"</code> パラメータを使用してテキストを指定します。
メッセージで改行（EOL）を使用する必要があります	コマンドは、を使用せずに使用します <code>-message</code> または <code>-uri</code> バナーを編集するための対話型モードを起動するためのパラメータ。
バナーに使用するコンテンツを特定の場所からアップロードします	を使用します <code>-uri</code> コンテンツのFTPまたはHTTPの場所を指定するパラメータ。

バナーの最大サイズは、改行も含めて 2、048 バイトまでです。

を使用して作成されるバナー `-uri` パラメータは静的です。以降にソースコンテンツが変更されても、自動では反映されません。

クラスタ用に作成したバナーは、既存のバナーがない SVM に対しても表示されます。以降に SVM 用のバナーを作成すると、その SVM に対しては、クラスタレベルのバナーではなくそのバナーが表示されます。を指定する `-message` 二重引用符で囲まれたハイフンを持つパラメータ ("`-`") をクリックすると、クラスタレベルのバナーを使用するようにSVMがリセットされます。

2. で作成したバナーが表示されていることを確認します `security login banner show` コマンドを実行します

を指定する `-message` 空の文字列を持つパラメータ ("`''`") には、コンテンツのないバナーが表示されます。

を指定する `-message` パラメータをに指定します "`-`" バナーが設定されていないすべてのSVM（管理またはデータ）が表示されます。

#### バナーの作成例

次の例では、非対話型モードを使用して「cluster1」クラスタ用のバナーを作成しています。

```
cluster1::> security login banner modify -message "Authorized users only!"  
  
cluster1::>
```

次の例では、対話型モードを使用して「vm1」SVM 用のバナーを作成しています。

```
cluster1::> security login banner modify -vserver svm1

Enter the message of the day for Vserver "svm1".
Max size: 2048. Enter a blank line to terminate input. Press Ctrl-C to
abort.
0          1          2          3          4          5          6          7
8
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234
567890
The svm1 SVM is reserved for authorized users only!

cluster1::>
```

次の例は、作成したバナーを表示します。

```
cluster1::> security login banner show
Vserver: cluster1
Message
-----
---
Authorized users only!

Vserver: svm1
Message
-----
---
The svm1 SVM is reserved for authorized users only!

2 entries were displayed.

cluster1::>
```

関連情報

[バナーの管理](#)

## バナーの管理

バナーはクラスタレベルまたは SVM レベルで管理できます。クラスタ用に設定したバナーは、バナーメッセージが定義されていない SVM に対しても表示されます。以降に SVM 用のバナーを作成すると、その SVM に対しては、クラスタ用のバナーではなくそのバナーが表示されます。

選択肢

- クラスタレベルのバナーの管理タスクを次に示します。

状況	作業
すべての CLI ログインセッションに対して表示するバナーを作成します	クラスタレベルのバナーを設定します。  `*security login banner modify -vserver <i>cluster_name</i> { [-message "text"]
<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>	すべてのログイン（クラスタと SVM の両方）に対するバナーを削除する
バナーを空の文字列に設定します ("") :  <b>security login banner modify -vserver * -message ""</b>	SVM 管理者が作成したバナーを変更する
SVM のバナーメッセージを変更します。  `*security login banner modify -vserver <i>svm_name</i> { [-message "text"]	<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>

- SVM レベルのバナーの管理タスクを次に示します。

を指定します `-vserver svm_name` SVMのコンテキストでは必要ありません。

状況	作業
クラスタ管理者が指定したバナーの代わりに SVM 用の別のバナーを表示する	SVM 用のバナーを作成します。  `*security login banner modify -vserver <i>svm_name</i> { [-message "text"]
<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>	クラスタ管理者が指定したバナーも含め、いずれのバナーも SVM に対して表示されないようにする
SVM のバナーを空の文字列に設定します。  <b>security login banner modify -vserver <i>svm_name</i> -message ""</b>	現在 SVM レベルのバナーを使用している SVM でクラスタレベルのバナーを使用している場合

## MOTDの作成

Message Of The Day（MOTD）を作成して、認証された CLI ユーザに情報を提供することができます。MOTD は、ユーザの認証後、クラスタシェルスプロンプトが表示される前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。

## 手順

1. を使用します `security login motd modify` クラスタまたはSVMのMOTDを作成するコマンドは次のとおりです。

状況	作業
1 行のメッセージを指定します	を使用します <code>-message "text"</code> パラメータを使用してテキストを指定します。
改行（EOL）を使用する	コマンドは、を使用せずに使用します <code>-message</code> または <code>-uri</code> MOTDを編集する対話型モードを起動するためのパラメータ。
MOTD に使用する内容を特定の場所からアップロードします	を使用します <code>-uri</code> コンテンツのFTPまたはHTTPの場所を指定するパラメータ。

MOTD の最大サイズは、改行も含めて 2、048 バイトまでです。

。 `security login motd modify` のマニュアルページに、動的に生成される内容をMOTDに表示するためのエスケープシーケンスが記載されています。

を使用して作成したMOTD `-uri` パラメータは静的です。以降にソースコンテンツが変更されても、自動では反映されません。

クラスタ用に作成した MOTD は、デフォルトでは、各 SVM に対して個別に作成した SVM レベルの MOTD と一緒に、すべての SVM ログインに対しても表示されます。を設定します `-is-cluster` `-message-enabled` パラメータの値 `false` SVMの場合、そのSVMに対するクラスタレベルのMOTDは表示されません。

2. を使用して、作成したMOTDが表示されていることを確認します `security login motd show` コマンドを実行します

を指定する `-message` 空の文字列を持つパラメータ ("`"`) には、未設定または内容がないMOTDが表示されます。

を参照してください "[security login motd modify のように変更します](#)" 動的に生成される内容を MOTD に表示するために使用するパラメータのリストについては、コマンドのマニュアルページを参照してください。ONTAP のバージョンに固有のマニュアルページを確認してください。

## MOTDの作成例

次の例では、非対話型モードを使用して「cluster1」クラスタ用の MOTD を作成しています。

```
cluster1::> security login motd modify -message "Greetings!"
```

次の例では、対話型モードを使用して「vm1」SVM用のMOTDを作成しています。このMOTDでは、エスケープシーケンスを使用して、動的に生成される内容を表示します。



```
cluster1::> security login motd modify -vserver svm1

Enter the message of the day for Vserver "svm1".
Max size: 2048. Enter a blank line to terminate input. Press Ctrl-C to
abort.
0          1          2          3          4          5          6          7
8
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234
567890
Welcome to the \n SVM.  Your user ID is '\N'. Your last successful login
was \L.
```

次の例では、作成した MOTD を表示しています。

```
cluster1::> security login motd show
Vserver: cluster1
Is the Cluster MOTD Displayed?: true
Message
-----
---
Greetings!

Vserver: svm1
Is the Cluster MOTD Displayed?: true
Message
-----
---
Welcome to the \n SVM.  Your user ID is '\N'. Your last successful login
was \L.

2 entries were displayed.
```

## MOTD を管理します

Message Of The Day (MOTD) はクラスタレベルまたは SVM レベルで管理できます。クラスタ用に設定した MOTD は、デフォルトですべての SVM に対しても有効になります。また、SVM ごとに SVM レベルの MOTD を設定できます。クラスタレベルの MOTD を有効にするか無効にするかは、クラスタ管理者が SVM ごとに設定できます。

MOTDの内容を動的に生成するために使用できるエスケープシーケンスのリストについては、[を参照してください](#) **"コマンドリファレンス"**。

選択肢

- クラスタレベルの MOTD の管理タスクを次に示します。

状況	作業
既存の MOTD がない場合にすべてのログインに対する MOTD を作成する	クラスタレベルの MOTD を設定します。  <pre>*security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> {   [-message "<i>text</i>"]</pre>
<code>[-uri <i>ftp_or_http_addr</i>] }</code> *	SVM レベルの MOTD が設定されていない場合にすべてのログインに対する MOTD を変更する
クラスタレベルの MOTD を変更します。  <pre>*security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> {   [-message "<i>text</i>"] }</pre>	<code>[-uri <i>ftp_or_http_addr</i>] }</code> *
SVM レベルの MOTD が設定されていない場合にすべてのログインに対する MOTD を削除する	クラスタレベルの MOTD を空の文字列に設定します ("") :  <pre><b>security login motd modify -vserver cluster_name -message ""</b></pre>
すべての SVM で、SVM レベルの MOTD を使用する代わりに、クラスタレベルの MOTD を表示するように設定します	クラスタレベルの MOTD を設定してから、SVM レベルのすべての MOTD を空の文字列に設定し、クラスタレベルの MOTD を有効にします。  a. <pre>*security login motd modify -vserver cluster_name { [-message "<i>text</i>"]</pre>
<code>[-uri <i>ftp_or_http_addr</i>] }</code> * .. <b>security login motd modify { -vserver !"cluster_name" } -message "" -is-cluster-message -enabled true</b>	クラスタレベルの MOTD を使用せずに、選択した SVM に対してのみ MOTD を表示する
クラスタレベルの MOTD を空の文字列に設定し、選択した SVM に対する SVM レベルの MOTD を設定します。  a. <pre><b>security login motd modify -vserver cluster_name -message ""</b></pre> b. <pre>*security login motd modify -vserver <i>svm_name</i> { [-message "<i>text</i>"]</pre>	<code>[-uri <i>ftp_or_http_addr</i>] }</code> * + この手順は、必要に応じて、各 SVM に対して繰り返し実行できます。
すべての SVM（データと管理の両方）に対して同じ SVM レベルの MOTD を使用します	同じ MOTD を使用するようにクラスタとすべての SVM を設定します。  <pre>*security login motd modify -vserver * { [-message "<i>text</i>"]</pre>

状況	作業
<pre>[-uri ftp_or_http_addr] }*</pre> <p>[NOTE] ==== CLI の対話型モードでは、クラスタと各 SVM について MOTD を個別に入力するように求められます。それぞれのプロンプトに同じ MOTD を貼り付けることができます。</p> <p>====</p>	<p>クラスタレベルの MOTD をすべての SVM で必要に応じて表示できるようにし、クラスタログインに対しては表示されないようにする</p>
<p>クラスタレベルの MOTD を設定し、クラスタに対する表示を無効にします。</p> <pre>*security login motd modify -vserver cluster_name { [-message "text"]</pre>	<pre>[-uri ftp_or_http_addr] } -is-cluster-message-enabled false*</pre>
<p>一部の SVM のみクラスタレベルと SVM レベルの両方の MOTD が設定されている場合は、クラスタレベルと SVM レベルのすべての MOTD を削除します</p>	<p>MOTD に空の文字列を使用するようにクラスタとすべての SVM を設定します。</p> <pre>security login motd modify -vserver * -message ""</pre>
<p>他の SVM で空の文字列が使用されている場合やクラスタレベルで別の MOTD が使用されている場合に、文字列が空でない SVM の MOTD だけを変更します</p>	<p>拡張クエリを使用して選択した MOTD を変更します。</p> <pre>*security login motd modify { -vserver !"cluster_name" -message !"" } { [-message "text"]</pre>
<pre>[-uri ftp_or_http_addr] }*</pre>	<p>該当するテキストが複数行にまたがる場合でも、メッセージ内の任意の場所に特定のテキスト（「January」、「2015」など）を含むすべての MOTD を表示する</p>
<p>クエリを使用して MOTD を表示します。</p> <pre>security login motd show -message *"January"*"2015"*</pre>	<p>複数の連続する改行（EOL）を含む MOTD を対話型モードで作成する</p>

- SVM レベルの MOTD の管理タスクを次に示します。

を指定します -vserver svm\_name SVM のコンテキストでは必要ありません。

状況	作業
<p>すでに SVM レベルの MOTD が設定された SVM で、別の SVM レベルの MOTD を使用します</p>	<p>SVM レベルの MOTD を変更します。</p> <pre>*security login motd modify -vserver svm_name { [-message "text"]</pre>

状況	作業
<code>[-uri <i>ftp_or_http_addr</i>] }*</code>	すでに SVM レベルの MOTD が設定された SVM で、クラスタレベルの MOTD だけを使用します
<p>SVM レベルの MOTD を空の文字列に設定し、その SVM に対してクラスタレベルの MOTD を有効にするようにクラスタ管理者に依頼します。</p> <p>a. <b><code>security login motd modify -vserver <i>svm_name</i> -message ""</code></b></p> <p>b. (クラスタ管理者) <b><code>security login motd modify -vserver <i>svm_name</i> -is -cluster-message-enabled true</code></b></p>	現在クラスタレベルと SVM レベルの両方の MOTD が表示されている SVM で、いずれの MOTD も表示されないようにする

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。